

鈴木ひとみ市政報告



鈴木ひとみ

ごあいさつ 今年の夏から秋にかけて、各地で大雨、洪水の被害が報道されています。地球温暖化の影響で、災害は年々激甚化しています。人々が安心して住み続けられる地球環境を守るため、私たちにできることは何でしょうか。取り返しがつかなくなる前に、出来ることから始めてみましょう。

令和4年9月市議会定例会 一般通告質問より



この夏、多くの観光客が館山を訪れました。海水浴、サップ、サーフィン、ダイビング、釣り、海に沈む夕陽など多くの観光客の目的は「海」。「食のまち館山」を支えているのも、豊かな海産物であり、海からの恵みです。

市民にとっても「海」は憩いの場です。夕方になると多くのカメラマンが海岸に並びます。ウォーキングやジョギングを楽しむ人。マリンスポーツを楽しむために地元に残る若者、二拠点居住を始める人。移住してきた人たちの多くが館山を選んだ理由を「海や山などの豊かな自然」としています。

この海をさらにきれいにしていくために、「きれいな海のまち館山」キャンペーンを実施します。館山のきれいな海を守り、さらにきれいにしていくために、街の中も、山も、川もきれいにしていきたいです。まず、ごみのポイ捨てをしない、ごみは持ち帰ることが第一歩。家の周りのごみを拾う、ゴミステーションをご近所と協力してきれいにするなど、出来ることから始めませんか。

●海岸美化について

千葉県内にも広域の海岸美化組織の設立を

8月10日に三澤県議の呼びかけで、近隣市町の議員と館山市職員、千葉県職員と一緒に「かながわ海岸美化財団」を訪問しました。

神奈川県の海岸の清掃、ボランティアによる海岸清掃の支援、海岸美化の啓発活動、調査研究を行って

いる組織です。広域の組織により、海岸美化の活動を効率よく行っています。

千葉県内にも同様の組織を作り、「千葉のきれいな海」を作っていきたいと考えます。市から県への積極的な働き掛けを要望します。